

文化振興計画 事業評価シート

事業名		第34回 奈良市美術家展		担当課 施設名	(奈良市美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -① (5) -③	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	昭和57年	実施回数	1	
日時	平成27年10月3日～18日			会場	奈良市美術館	
目的	郷土の美術家である奈良市美術家協会会員の作品発表の場であるとともに、多くの市民に優れた美術作品を鑑賞していただける場を提供する。					
内容	奈良市美術家協会会員が一人1作品を出展。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、建築の7部門で約70点の作品を展示。会期中には各部門の代表者による作品解説がある。入場無料。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	870,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	870,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	870,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	833,066
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 (回収件数 53名)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		9	観覧者数 3,310人		
	参加者満足度		8	作品は見やすかった 96% キャプションは見やすかった 72% 目録は見やすかった 90%		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	奈良市美術家協会との共催で事業を実施している。 展覧会の受付・監視をボランティアの方々に行ってもらっている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	奈良市美術家協会の会員が作品を出品し作品解説も行っており、展覧会の質は確保できているものとする。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	中高年層を中心に、多くの市民に優れた美術作品を鑑賞していただいている。		
総合評価 (自動計算)			9			
参加者や協働相手からの意見			展覧会の観覧者からは、奈良市にゆかりのある様々な分野の芸術家の作品を無料で観覧したり、ギャラリートークを聞くことができ、非常に喜ばれている。また、作品を出品していただいている奈良市美術家協会の会員においては、作品制作の励みになっている。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	毎年秋に開催しており、市民からは奈良市美術家協会の会員の作品が、無料で一堂に鑑賞できると好評を博している。			奈良市美術家協会の会員が高齢化しているが、できるだけ多くの会員の方々に作品を出品していただけるように努力していきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		第34回 市展「なら」		担当課 施設名	(奈良市美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -① (5) -③	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	昭和57年	実施回数	1	
日時	平成28年2月25日～3月6日			会場	奈良市美術館	
目的	市民の美術に関する見識を広め、美術作品の創作意欲を高める場を提供することにより、本市の文化振興を図る。					
内容	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門の作品を一般公募し、鑑審査を経て入選・入賞した作品を展示する。会期中に審査員による作品解説がある。表彰式を行い、入賞者に賞状を授与する。入場無料。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	384,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	750,000	支出	1,134,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	384,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	886,000	支出	1,106,079
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 (回収件数 87名)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	観覧者数 6,112人		
	参加者満足度		8	大変良かった 39% 良かった 44% ふつう 13%		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	公募展のため多くの市民が参加した。 展示会の受付・監視をボランティアの方々に行ってもらっている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	鑑審査を奈良市美術家協会の会員に行ってもらっているので質は確保されている。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	部門により奈良市美術家協会会員を通じて高校にも広報してもらった。		
総合評価 (自動計算)			9			
参加者や協働相手からの意見			公募展に出品しているの方々からは、作品制作の目標や励みになると喜ばれている。また、展示会を観覧された方々は、いろいろなジャンルの作品を楽しめると好評である。また、作品制作をしておられる方は、今後の作品制作の参考になるとおっしゃっていただいている。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	毎年開催している公募展として定着しており、12月頃から募集要項等の問い合わせがある。			応募点数の少ない部門への対応策として、関係する美術家協会の会員や教室・サークル等に声掛けをする。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		奈良市・月ヶ瀬・都祁合併10周年記念 奈良を観る ～月ヶ瀬と都祁を巡る～		担当課 施設名	(奈良市美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -②、(2) -①	
	基本施策	2-05	文化振興		(2) -②、(2) -④	
	施策	2-05-01	文化の振興		(5) -③	
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成26年	実施回数	1	
日時	平成27年10月29日～11月8日			会場	奈良市美術館	
目的	市民が優れた芸術に触れる機会を提供する。また、奈良市が歴史都市であること再確認できる場を提供する。					
内容	奈良の近代における美術や文化を発掘（調査）し、「奈良を観る」と題して紹介するシリーズの第2回目。 旧月ヶ瀬村と旧都祁村が奈良市と合併して10年になることから、月ヶ瀬と都祁の歴史文化、芸術を紹介する。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	644,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	50,000	支出	694,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	644,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	749,984	支出	1,207,739
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有（回収件数 50人）		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	観覧者数 522人		
	参加者満足度		9	大変良かった 52% 良かった 40%		
	市民参画・協働の成果はあったか		9	展示会の監視をボランティアの方々に行ってもらっている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		9	地元の資料館等から作品を借用し一定の質を確保した。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	できるだけ幅広い層に観覧していただきたかったので、あまり絞らなかった。		
総合評価（自動計算）			9			
参加者や協働相手からの意見			展示会を観覧した方々からは、都祁や月ヶ瀬の歴史や良さが分かったと好評だった。また、都祁や月ヶ瀬の年配の方々からは、昔の景色や産業等を懐かしむ声が多く聞かれた。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	展示会を通じて、奈良市民に月ヶ瀬や都祁の歴史文化を再発見してもらうことができた。			早いタイミングで多くの情報を掲載してもらえるように、マスコミへの広報に工夫が必要である。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		入江泰吉と須田剋太の奈良		担当課 施設名	(奈良市美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -②、(2) -① (2) -④、(5) -③	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成27年	実施回数	1	
日時	平成27年7月24日～8月16日			会場	奈良市美術館	
目的	市民が優れた芸術に触れる機会を提供する。また、奈良市が歴史都市であること再確認できる場を提供する。					
内容	奈良大和路の写真家・入江泰吉と、生涯の友である奈良ゆかりの画家・須田剋太の作品を通じて、戦後奈良の芸術文化や奈良の魅力を紹介する。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	663,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	630,000	支出	1,293,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	663,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	326,500	支出	882,417
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有 (回収件数 47人)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		9	観覧者数 1,415人		
	参加者満足度		9	大変良かった 70% 良かった 23%		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	展示会の監視をボランティアの方々に行ってもらっている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	他の美術館や東大寺・元興寺等の協力を得て、一定の質を確保している。		
	ターゲットは適切に絞れたか			できるだけ幅広い層に観覧していただきたかったので、あまり絞らなかった。		
総合評価 (自動計算)			10			
参加者や協働相手からの意見			展示会の観覧者からは、奈良ゆかりの入江泰吉と須田剋太の作品だけではなく、二人の関係や二人を取り巻く奈良ゆかりの文化人や芸術家などのかかわりを知ることができたと好評だった。また、元興寺等の作品借用先からは、美術館で作品を観覧した方々が、元興寺等に興味を持ち訪問することが期待できるという声をいただいた。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	展示会を通して、市民が奈良の歴史文化をし発見することができた。			早いタイミングで多くの情報を掲載してもらえるように、マスコミへの広報に工夫が必要である。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		第12回新春造形まつり 奈良市児童生徒作品展		担当課 施設名	(奈良市美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -① (2) -②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成16年	実施回数	1	
日時	平成28年1月5日～11日			会場	奈良市美術館	
目的	市内の児童生徒に作品発表に場を提供する。					
内容	奈良市立の小・中・高等学校、市内養護学校の児童生徒による平面作品、立体作品を紹介する。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	87,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	87,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	87,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	78,030
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有（回収件数 250人）		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	観覧者数 4,855人		
	参加者満足度		10	楽しく鑑賞できた 98%		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	児童生徒が参加することにより、その家族など多くの市民を巻き込むことができた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		9	学校の先生方の指導のもと一定の質は確保された。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	学校をターゲットとした。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			展覧会の観覧者からは、自分の子供や学校の作品だけではなく、他の学校や生徒の作品も観覧できてよかったと好評だった。また、作品を出品している学校の先生にとっても、美術作品の発表の場であると同時に、良い研修の場でもあると好評であった。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	児童生徒の作品への創作意欲の向上と、作品発表の場として好評をいただいている。			奈良市立の小中高等学校の先生方と連携をとりながら、継続していきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		平成27年度 市民実技講座・親と子のやさしいアート体験		担当課 施設名	(奈良市美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) - ①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	昭和58年	実施回数	11	
日時	平成27年7月～10月			会場	中部公民館ほか	
目的	市民の美術作品に対する創作活動に関する知識と意欲を高める場を提供する。					
内容	奈良市美術家協会会員の協力により、洋画、書、写真等の専門家の指導を受け創作活動を行う。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	講座参加者 194人		
	参加者満足度		9	各講座とも専門家の指導を受けながら創作活動ができるので、好評である。		
	市民参画・協働の成果はあったか		9	各講座とも多くの市民が参加した。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	奈良市美術家協会会員の指導のもと一定の質は保たれている。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	部門により小学校にも広報した。		
総合評価（自動計算）			9			
参加者や協働相手からの意見			講座の参加者からは、奈良市美術家協会の会員の方々の指導を安価で受けられるので、非常に好評である。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	安価で奈良市美術家協会会員に指導してもらえるので、好評を得ている。			参加者の少ない講座があるので、さらに広報等を努力して参加者数を増やしていきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		第33回 市民実技講座作品展		担当課 施設名	(奈良市美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	昭和58年	実施回数	1	
日時	平成27年11月25日～29日			会場	奈良市美術館	
目的	市民の芸術活動の発表の場を提供する。					
内容	市民実技講座・親と子のやさしいアート体験で創作した作品を、奈良市美術家協会会員の指導の下に自ら展示し多くの人に鑑賞してもらう。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		9	出品者数72人 観覧者数 614人		
	参加者満足度		10	創作した作品が、美術館で展示されたことに満足度が大きい。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	展示指導等を奈良市美術家協会会員が行った。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	各部門とも奈良市美術家協会会員の指導により展示されたので、一定の質は確保されている。		
	ターゲットは適切に絞れたか		9	講座参加者とその関係者が中心となった。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			講座の参加者からは、自分の作品が美術館に展示されることが良い記念になると非常に喜ばれている。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	個人では展覧会を開催できない方でも展覧会に参加することができ、とても良い経験ができたと満足していただいている。			創作した作品を展示しない方が一部いらっしゃるので、できるだけ展示してもらえようとして入目を複数にする等の検討が必要。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		奈良の散歩道（講座・年2回）		担当課 施設名	（奈良市美術館）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	（1）－①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成26年	実施回数	2	
日時	①平成27年11月29日 ②平成28年3月2日			会場	ならまち界隈、東大寺二月堂ほか	
目的	古代の歴史や文化人が訪れた場所を散策し、市民が奈良の奥深い魅力を再発見する場を提供する。					
内容	毎回テーマに沿い当館学芸員の解説を聞きながら、現地を散策する。 （①今昔のならまちを歩く ②お水取り）					
事業費（円）						
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	30,000	支出	30,000
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	15,400	支出	5,306
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入）				無		
指標			評価 （10点満点）	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	参加者数 ① 8人 ② 26人		
	参加者満足度		10	学芸員の解説に対して満足度が高かった。		
	市民参画・協働の成果はあったか		8	多くの市民が参加してくれた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		9	学芸員の解説により、質は確保された。		
	ターゲットは適切に絞れたか		9	中高年層に絞った。		
総合評価（自動計算）			9			
参加者や協働相手からの意見			講座の参加者からは、知っている場所や、通っている場所について、学芸員の解説を聞き新たな発見があったり、見識が広まったと喜ばれている。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	参加者の満足度は高かったが、①の講座の参加者数をもう少し増やしたかった。			もう少し広報を工夫するなどして、講座の参加者数を増やす努力をしたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		奈良女子大学連携協力事業 奈良市美術館の仏教美術講座		担当課 施設名	(奈良市美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(10) -①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成25年	実施回数	1	
日時	平成28年3月21日			会場	東大寺法華堂ほか	
目的	大学と連携協力し、相互の人的・知的資源の交流を図り、その成果が市民に還元されることを目的としている。					
内容	奈良女子大学と連携協力し、奈良女子大学の教授に講師をしていただき仏教美術をテーマに講話と現地を散策をおこなう。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	30,000	支出	30,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	18,000	支出	24,600
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		9	参加者数 18人		
	参加者満足度		10	奈良女子大学の教授の解説に対して満足度が高かった。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	奈良女子大学と協力することにより、市民の方々に満足していただけた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	講師に奈良女子大学教授を招き講座の質を確保した。		
	ターゲットは適切に絞れたか		9	仏教美術に関心のある方に絞った。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			講座に参加された仏像やお寺に興味のある方々から、奈良女子大学の教授の解説を聞くことができ、より理解が深まったり新たな発見があったと好評である。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	奈良女子大学教授の解説が聞けることにより、参加者の満足度が高かったことが良かった。			広報を充実させて、講座の参加者数をさらに増やしていきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		博物館実習		担当課 施設名	(奈良市美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(5) -①、(10) -①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成26年	実施回数	1	
日時	平成27年7月～9月			会場	奈良市美術館	
目的	大学との連携や文化を担う人材の育成に寄与するため。					
内容	当館学芸員による講義や展覧会の準備、美術館業務等を行う。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	実習生 10人		
	参加者満足度		10	大学の授業とは違い実際の現場を体験で満足していた。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	大学と連携することにより、文化を担う人材の育成に寄与している。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	当館学芸員の指導により一定の質は保たれた。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	学芸員資格の取得を目指している大学生に絞っている。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			大学からは学芸員資格取得のための実習の場を提供してもらったと喜ばれている。当館としても美術館のPRにつながる良い機会だと考えている。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	大学にとっては学芸員資格取得のための実習の場として必要であり、美術館としては当館を知ってもらう良い機会である。			学芸員が入江泰吉記念奈良市写真美術館と兼務のため、受け入れ人数に限界があり現状維持が精一杯である。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ミュージアムサポーター		担当課 施設名	(奈良市美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(5) - ③	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成25年	実施回数	4	
日時	通年			会場	奈良市美術館	
目的	当館が行う文化活動のサポートを行っていただくとともに、活動の場を提供する。					
内容	当館主催の展覧会において、ボランティアで受付及び監視業務を行ってもらう。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		9	ボランティア 延べ135人		
	参加者満足度		10	業務を行いながら作品鑑賞もできるので好評だった。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	多くの市民の応募があった。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		9	過去の経験者もおられるので一定の質は保たれた。		
	ターゲットは適切に絞れたか		9	芸術文化に興味のある方に絞った。		
総合評価（自動計算）			9			
参加者や協働相手からの意見			ミュージアムサポーターの参加者は、美術に関心のある方が多く、美術館の仕事の手伝いをしながら、美術作品を鑑賞できると喜ばれている。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	多くの市民に協力してもらい展覧会の運営がスムーズに行われた。			ボランティアで来ていただく方々の年齢が中高年の方が多いが、学生や若い方々に来ていただけるようにアプローチしていきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ホームページ		担当課 施設名	(奈良市美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(15) - ①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成15年	実施回数	1	
日時	通年			会場	奈良市美術館	
目的	市民の方々に当館の情報を発信するため。					
内容	ホームページを開設し、展覧会や展示室の利用案内、各種イベント等の情報を発信する。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	多くの方がホームページを観て展覧会の情報を得ている。		
	参加者満足度		9	リニューアルしたため、見やすくなったと好評である。		
	市民参画・協働の成果はあったか		9	ホームページ内にフェイスブックも併設しており、市民の間で情報が拡散している。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		9	リニューアルしたため、質は向上した。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	不特定多数を対象にしている。		
総合評価 (自動計算)			9			
参加者や協働相手からの意見			美術館利用者からは、展覧会のスケジュールや内容、講座の参加募集の情報等がわかり好評である。また、フェイスブックで細かな情報も掲載しており好評である。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	ホームページは、リニューアルしたため以前より見やすくなったと好評である。			ホームページやフェイスブックを何度も見てもらえるように新しい情報や魅力ある情報を発信していきたい。		